

Daiwa Investment Conference 2016

新たな成長フェーズにおける経営戦略

富士フイルムホールディングス株式会社

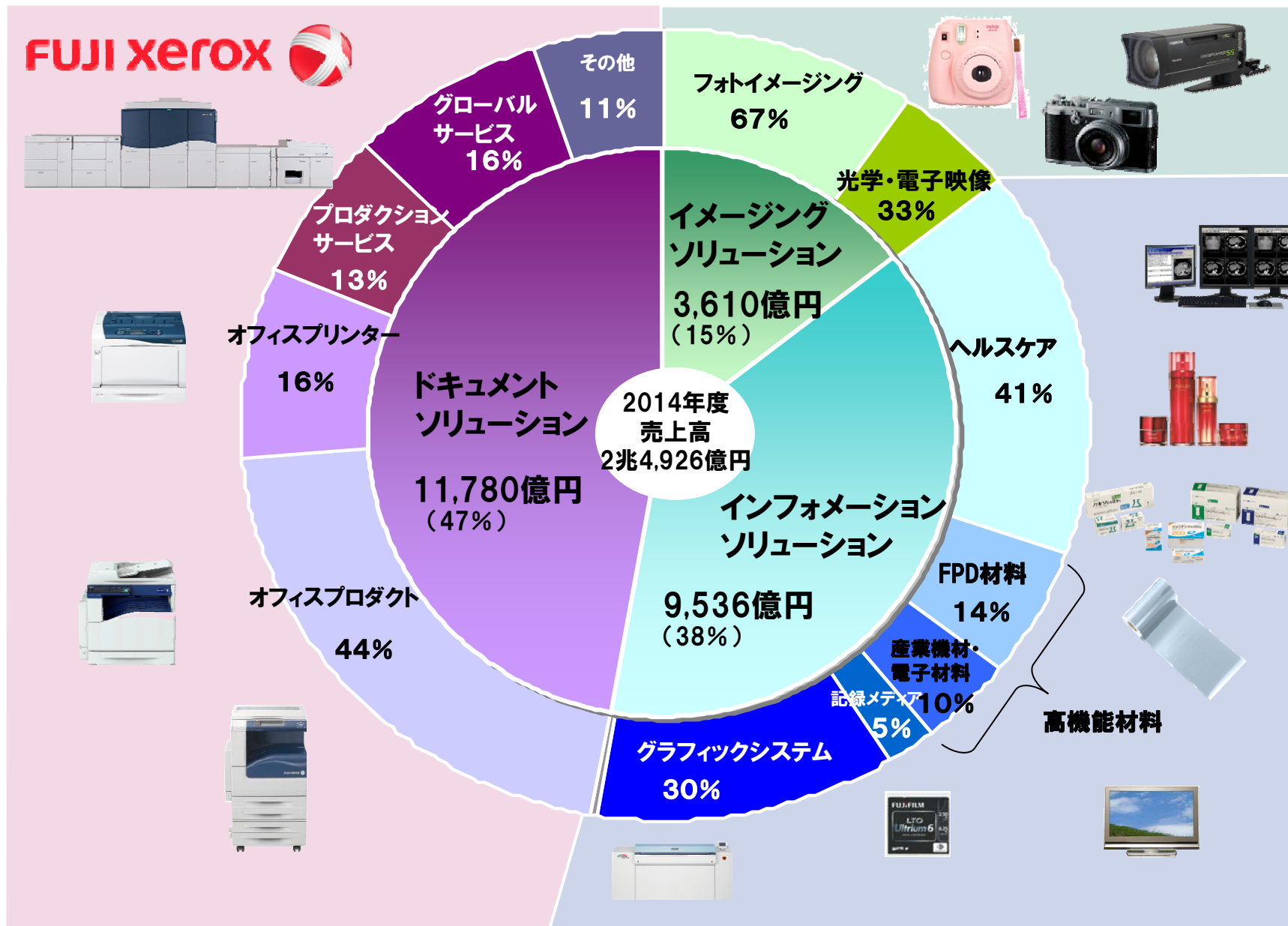
2016年3月1日

代表取締役会長・CEO

古森重隆

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

富士フイルムグループの事業分野



重点事業分野において 成長を牽引する3分野

ヘルスケア

- ・メディカルシステム、医薬品、再生医療、ライフサイエンス(化粧品)で構成。
- ・メディカルシステムで安定した利益成長を実現。2018年ごろから医薬品の新薬上市。

高機能材料

- ・フラットパネルディスプレイ材料、産業機材他で構成。
- ・フラットパネルディスプレイ材料で安定した利益を維持。収益性の高い新規高機能材料を複数創出。

ドキュメント

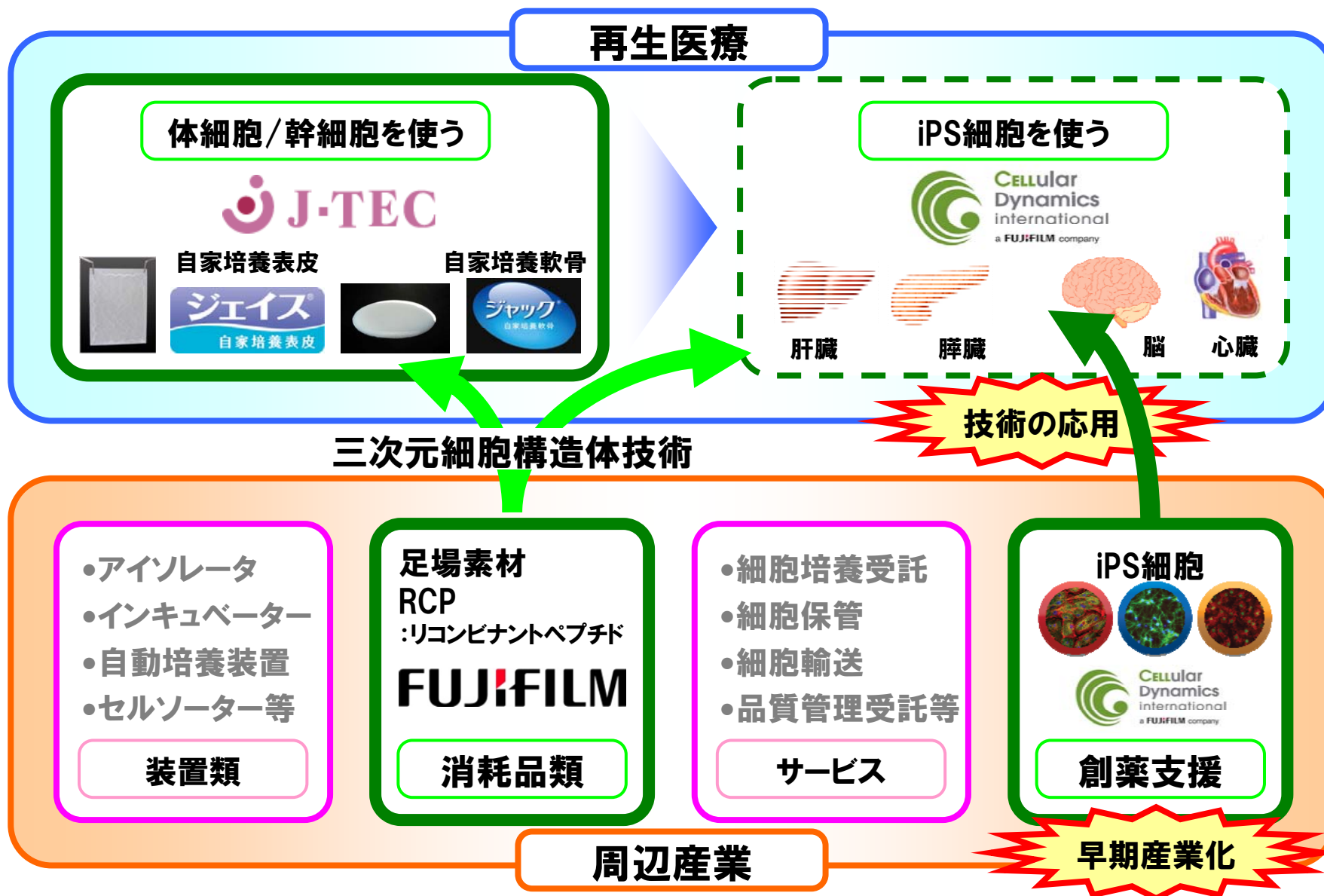
- ・富士ゼロックスの事業で、複合機やプリンター、各種ソリューションサービスを扱う。
- ・新興国での機器の拡販を強化すると共に、先進国でソリューションサービスを展開。

安定した利益基盤で成長を支える

売上規模が大きい
グラフィックシステム・フォトイメージングなど

特に医薬品・メディカル事業を軸としたヘルスケアの成長性に期待

当社の再生医療関連事業領域



強固な経営基盤
安定的な利益・キャッシュ



中長期的に安定成長できるビジネスポートフォリオの充実

コア事業の成長の加速

ヘルスケア・高機能材料・ドキュメント事業を成長ドライバーとし、拡販や新製品の市場投入により、売上・シェア・利益を拡大。M&Aも活用。

全事業における収益性の向上

ビジネス規模と優位性を維持しつつあらゆる企業活動において生産性向上・効率化を進め、収益性を向上

株主還元の強化



「過去最高益」の達成、ROEの向上

安定的に創出できるキャッシュを生かし、利益をさらに拡大
今後も持続的な成長で社会に貢献できる企業へ

中期経営計画 VISION2016 目標

	2013年度	2014年度	2016年度（対2013年度）	
売上高(億円)	24,400	24,926	26,300 (+7.8%)	
営業利益(億円)	1,408	1,724	過去最高 2,200 (+56.3%)	2018年度に
営業利益率	5.8%	6.9%	8.4% (+2.6ポイント)	→ 10%を目指す
当社株主帰属 当期純利益(億円)	810	1,186	1,200 (+48.1%)	
ROE	4.2%	5.6%	7.0% (+2.8ポイント)	→ 8%を目指す

ROE 7%達成

- 営業利益目標必達
- 戦略的投資による利益上乘せ
- 株主還元強化

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を広げるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<http://www.fujifilmholdings.com>